

あおやま

青山校区 第一次
ふくしのまちづくり計画

あ いが いっぱい
お となも こともも
や さしさあふれる
ま ちづくり



皇后崎公園

2026

▶ 2030

ごあいさつ

青山校区の皆様には、日頃より当会の活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、誰もが住み慣れたこの青山校区で、安心して自分らしく暮らし続けられるまちづくりを目指し、「小地域福祉活動計画」を策定いたしました。本計画は、地域の課題を共有し、住民一人ひとりに何ができるかを形にした未来への道標です。

これまで当校区では、高齢者の皆様との「ふれあい交流会」や、子どもたちの安全を守る「登下校の見守り活動」など、世代を超えた絆を育む活動に注力してまいりました。こうした「顔の見える関係」こそが、互いに支え合う地域福祉の原動力になると確信しております。

本計画の推進にあたり、皆様と共に「青山校区で暮らしてよかった」と思える笑顔あふれる地域づくりを一歩ずつ進めてまいります。今後とも、一層のご支援とご参画を心よりお願い申し上げます。

令和 8(2026)年 3 月



青山校区社会福祉協議会
会長 池田 栄明

も く じ

第1章	計画策定にあたって	1
1	計画の性格	
2	計画の期間	
3	計画の策定経過	
第2章	青山校区の現状と課題	2
1	地域の特性	
2	地域の福祉課題	
第3章	計画体系	3
1	基本理念	
2	基本目標	
3	実施項目（体系図）	
4	重点実施項目	
第4章	計画の推進	7
1	地域への計画の承認と周知	
2	計画を推進するための体制	
3	第二次計画の策定	
参考資料		8
1	策定委員会委員名簿	
2	策定委員会での協議事項	



第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、青山校区の様々な福祉課題を解決するために、既存の活動を活かしながら、住民や民間団体が将来の見通しをもって計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、青山校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び市・区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市の「地域福祉計画」及び北九州市・区社会福祉協議会が中心となって策定した「地域福祉活動計画」と整合性を図りながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 青山校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉活動の中核的な団体として多様な団体と連携を図りながら地域福祉を推進するために今後の活動方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有しています。

2 計画の期間

令和 8(2026)年度～令和 12(2030)年度までの5カ年とします。ただし、計画期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

青山校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、既存の活動を活かしながら、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、青山校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置し、青山校区小地域福祉活動計画を策定しました。



第4回策定委員会出席メンバー



第2章 青山校区の現状と課題

1 地域の特徴

	平成 6(1994)年	平成 22(2010)年	令和 7(2025)年
世帯数	3,096 世帯	3,042 世帯	2,946 世帯
人口	7,141 人	6,101 人	5,338 人
14 歳以下	1,203 人 (16.8%)	820 人 (13.4%)	573 人 (10.7%)
15 歳～64 歳	5,189 人 (72.7%)	3,922 人 (64.3%)	3,004 人 (56.3%)
65 歳以上	749 人 (10.5%)	1,359 人 (22.3%)	1,751 人 (32.8%)
市民センター	青山市民センター	小 学 校	青山小学校
地域包括支援センター	八幡西 3	中 学 校	熊西中学校 穴生中学校

青山校区は、八幡西区の北部に位置し、地域的には便利な交通アクセスと豊かな自然環境を兼ね備えています。表紙にも掲載されている皇后崎公園は、特に桜の名所として知られ、多くの人々に親しまれています。教育機関や商業施設が充実しており、居住環境も整っている一方で、地域住民の高齢化や地域コミュニティの希薄化等の課題が顕在化しています。

2 地域の福祉課題（小地域福祉活動の課題）

● 地域のつながりの希薄化

町内会の加入率の低下や地域活動への参加率の減少により、地域住民同士の交流の機会や行事への参加が減ってきています。誰もが気軽に集い、交流できる身近な場所や機会を増やすことで、住民同士のつながりを強めていく必要があります。

● 地域活動の新しい担い手の確保

地域の活動者が高齢となり、活動する際はいつも同じメンバーが集まります。高齢者の見守りや地域の行事に協力してくれる次世代の活動者を発掘するとともに、青山校区の活動を広く認識してもらうために、広報にも工夫が必要です。



第3章 計画体系

青山校区では、地域共生社会の実現に向けて、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願い、基本理念と基本目標、取組みを定めました。

1 基本理念

「あいがいっぱい おとなも子どもも やさしさあふれる まちづくり」

2 基本目標

(1) 大人も子どもも笑顔あふれるまちづくり

市民センター等を中心とし、子どもから高齢者まで誰もが参加しやすい行事を開催して、社協が中心となって行っているサロン活動を活発化させるとともに、多世代が交流できるような場を増やすことを目指します。

(2) 便利でやさしいまちづくり

この先も便利でやさしいまちであり続けるには、ちょっとした暮らしの困りごとや子育ての悩みなど気軽に話せる場所について、地域住民に周知していく必要があります。関係機関同士が連携し、必要な方に必要な情報を発信できる仕組みづくりを検討しています。

(3) 誰もが活躍できるまちづくり

地域住民誰もが安心・安全に暮らしていけるように、見守り活動や防犯パトロール活動等を継続します。また、子どもから大人までみんなで協力し、考えを出し合うことで誰もが活躍できるまちづくりを目指します。



策定委員会の様子



3 実施項目（体系図）

	〔基本目標〕	〔主な取組み〕
<p>〔基本理念〕</p> <p>あいがいっぱい おとなも子どもも やさしさあふれる まちづくり</p>	<p>大人も子どもも 笑顔あふれる まちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青山お茶ちゃ会【社協】 ・ 青山センターまつり【まち協、市民センター】 ・ ワクワクレクリエーション【社協】 ・ ふれあい出前クラブ【社協】 ・ 萩原・青山自治区会夏祭り【自治区会】 ・ 敬老会【自治区会】 ・ 防災訓練【防災会、まち協、市民センター】 ・ 防犯教室【社協、自治区会、警察】 ・ 健康づくり事業【まち協、市民センター】 ・ 生き生き子ども講座【市民センター】 ・ 青山うるおい講座【市民センター】 ・ 家庭教育講座【青山小 PTA、市民センター】 ・ 青山 GOGO 歩こう会【健推、市民センター】 ・ ラジオ体操【健推、市民センター】 ・ 三世代交流しめ飾り作り【市民センター】 ・ 三世代交流新春コンサート【市民センター】 ・ さくらコンサート in あおやま【市民センター】
	<p>便利でやさしい まちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「お元気ですか？」配付【社協】 ・ 公園愛護会【公園愛護会】 ・ 集会所管理【商店組合】 ・ 広報啓発物配付（キャンペーン）【青少年育成会】 ・ あおやまの風【社協】 ・ ほっと青山【市民センター】 ・ 高齢者への年賀の配付【社協】
	<p>誰もが活躍できる まちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の見守り【民児協、社協】 ・ 登下校時の見守り【安全パトロール隊】 ・ 青山パトロール隊【自治区会、安全パトロール隊】 ・ 夜間防犯パトロール【自治区会、安全パトロール隊】 ・ 年末防犯パトロール【自治区会、安全パトロール隊】 ・ 道路サポーター【商店組合】 ・ 町内清掃【自治区会】 ・ 小学校での講座【小学校、PTA、まち協、社協】 ・ 連絡調整会議【社協、民児協、市民センター、聖ヨゼフの園】 ・ 地域ボランティア、学生ボランティア【まち協、市民センター】



4 重点実施項目

重点実施項目		地域を支える人材の発掘・確保						
1 課題背景及び地域の現状								
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が集える場所が少なく、多世代交流の機会がない。 ・人付き合いが煩わしいと感じる人が多い。 ・集合住宅が多く、人の交流が少ない。 ・住民の流入、流出が多い。 ・福祉協力員が高齢化し、活動人数が減少している。 								
2 活動の方針・目標								
<ul style="list-style-type: none"> ・ウェルクラブを立ち上げ、将来的な地域の活動者を育む。 ・活動者の動機付けにつながる取り組みを行う。 ・新しい活動者（ボランティア）を公募で募る。 								
3 段階的な取組みの年次計画								
取組み内容		連携する機関	R8	R9	R10	R11	R12	備考
子ども関連の取組み	ウェルクラブの立ち上げ	小・中学校 高校 まち協 警察、消防署 幼稚園 聖ヨゼフの園 保育園 他校区社協	➡ 視察	➡ 企画	➡ 広報	➡ 実施	➡	・子どもたちに体験の機会を提供する (例) お茶ちゃ会やクリスマス会等の地域行事への参加
	小学校内でのイベントの実施	小学校 PTA まち協 自治区会 区役所 健推 消防署	➡ 提案	➡ 準備	➡ 実施	➡	➡	・他校と合同のPTAイベントの開催 ・小学校の行事に地域の方が参加する ・給食試食会に参加する ・小学校での防災訓練 ※参加してみたいイベントについて児童から意見を集める



青山校区小地域福祉活動第一次計画

取組み内容		連携する機関	R8	R9	R10	R11	R12	備考
地域のつながりの再構築	多世代交流 イベントの実施	小・中学校 高校 まち協 自治区会	➡ 準備	➡ 実施	➡	➡	➡	・多世代スポーツ大会 ・スポーツごみ拾い ・むかし遊びの伝承 ・自転車の乗り方講座
	地域住民の 居場所づくり	小学校 PTA まち協 自治区会	➡ 準備	➡ 実施	➡	➡	➡	・子どもたちやお母さんたちが気軽に集まれる場の提供 ・多世代しゃべり場 ・おいちゃんの会の設立
	地域で声を 掛け合う 関係づくり	小・中学校 高校 幼稚園、保育園 まち協 自治区会 聖ヨゼフの園 警察	➡ 準備	➡ 実施	➡	➡	➡	・あいさつ運動 ・声掛けスタンプラリー
	八幡西区の各校 (地)区社協全体 でのイベントを 立ち上げる	各校(地)区社協 各まち協 各自治区会 各小学校 各PTA 八幡西区役所 副都心黒崎	➡ 提案	➡ 準備	➡ 実施	➡	➡	



第4章 計画の推進

1 地域への計画の承認と周知

計画を推進していくために、既存の地域活動と連携を図りながら、以下の計画の広報活動を行います。

- (1) 校区社会福祉協議会総会等を通じた活動者への計画の承認と周知
- (2) 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- (3) 計画書概要版の配布などを通じた校区住民への周知等

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、青山校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理等について、委員会で協議を進めていきます。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

(2) 計画の進行管理

青山校区小地域福祉活動計画推進委員会を年度に数回程度開催します。(当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催)

委員会では、各団体との連携を図りながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合にはその原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間には新しく計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。



参考資料 【青山校区小地域福祉活動計画の策定経過】

1 青山校区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿 (令和8年3月31日現在)

	氏名	所属団体	役職	備考
1	池田 栄明	青山校区社会福祉協議会	会長	
2	長谷部 純子	青山校区社会福祉協議会 青山地区民生委員児童委員協議会	副会長 前会長	
3	隈井 佐智子	青山校区社会福祉協議会	副会長	
4	片山 喜美子	青山校区社会福祉協議会	副会長	
5	坂田 佳子	青山校区社会福祉協議会 青山地区民生委員児童委員協議会	事務局長 会長	
6	林 茂樹	青山校区社会福祉協議会	会計	
7	平野 淳子	青山校区社会福祉協議会	会計	
8	中川 陽子	青山校区社会福祉協議会	会計監査	
9	定行 佳代子	青山校区社会福祉協議会 青山地区民生委員児童委員協議会	部会長 主任児童委員	
10	中島 恵美子	青山校区社会福祉協議会	部会長	
11	山口 均	青山校区社会福祉協議会	理事	
12	野中 利郎	青山まちづくり協議会 萩原・青山自治区会	会長	
13	梅田 和志	青山市民センター	館長	
14	末次 理江	青山小学校	校長	
15	松尾 千春	青山小学校父母教師会	会長	
16	五味 伸治	社会福祉法人援助会 聖ヨゼフの園	副施設長	
17	嶋本 政雄	青山青少年育成会	会長	
18	武末 泰輔	八幡西警察署生活安全課	係長	



2 青山校区小地域福祉活動計画策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
1	R7年8月8日(金)	第1回策定委員会 ・地域の良いところ、課題の共有
2	R7年9月12日(金)	第2回策定委員会 ・既存の活動を体系的に整理 ・基本理念の決定
3	R7年10月10日(金)	第3回策定委員会 ・既存の活動を体系的に整理 ・基本目標と重点実施項目の選定
4	R7年11月14日(金)	第4回策定委員会 ・既存の活動を体系的に整理 ・重点実施項目の年次計画について検討
5	R8年1月9日(金)	第5回策定委員会 ・計画書及び概要版の構成、編集について確認
6	R8年2月13日(金)	第6回策定委員会 ・計画書及び概要版の素案の確認



.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



社会福祉協議会のイメージキャラクター
プチボザウルス Petit vo saurus



Petit (プチ：ちっちゃな)
Volunteer (ボランティア)
Saurus (ザウルス≡恐竜)



青山校区社会福祉協議会

〒806-0043 北九州市八幡西区青山 2-1-3 青山市民センター内
TEL 093-631-0767 FAX 093-631-0768

八幡西区社会福祉協議会

〒806-8510 北九州市八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ 6階
TEL 093-642-5035 FAX 093-642-5077

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1-6 ウェルとばた内
(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351

